

ブラックロック・ヘルスサイエンス・DCファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第4期(2023年8月21日決算)

作成対象期間(2022年8月23日～2023年8月21日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「ブラックロック・ヘルスサイエンス・DCファンド」は、このたび、第4期の決算を行ないました。

当ファンドは、ヘルスサイエンス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界のヘルスサイエンス関連企業(医薬品、バイオテクノロジー、医療機器・用品、ヘルスケアサービス等)の株式に投資し、信託財産の成長を目標に運用を行ないます。当期につきましても、これに沿った運用を行ないました。ここに、運用経過についてご報告いたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

ブラックロック・ジャパン株式会社

〒100-8217 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号

丸の内トラストタワー本館

運用報告書に関するお問合わせ先

電話番号: 03-6703-4300

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

ホームページアドレス

www.blackrock.com/jp/

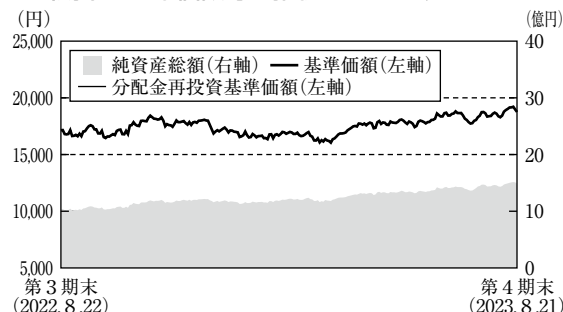
第4期末(2023年8月21日)	
基準価額	18,761円
純資産総額	1,489百万円
騰落率	9.4%
分配金	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

- 当ファンドは、投資信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記弊社ホームページの「ファンド・ETF情報」、「投資信託」から当ファンドのファンド名を選択することにより、当ファンドの「運用報告書(全体版)」を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 「運用報告書(全体版)」は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

◇運用経過

■当期中の基準価額等の推移について（第4期：2022年8月23日～2023年8月21日）



第4期首：17,142円
 第4期末：18,761円(既払分配金0円)
 騰落率：9.4%(分配金再投資ベース)

■基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額の期中騰落率は+9.4%となりました。当期、「ヘルスサイエンス・マザーファンド」が上昇したことが、当ファンドのプラス要因となりました。

■組入ファンドの当期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
ヘルスサイエンス・マザーファンド	10.1%

- * 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- * 分配金再投資基準価額は、前期末の基準価額に合わせて指数化しています。

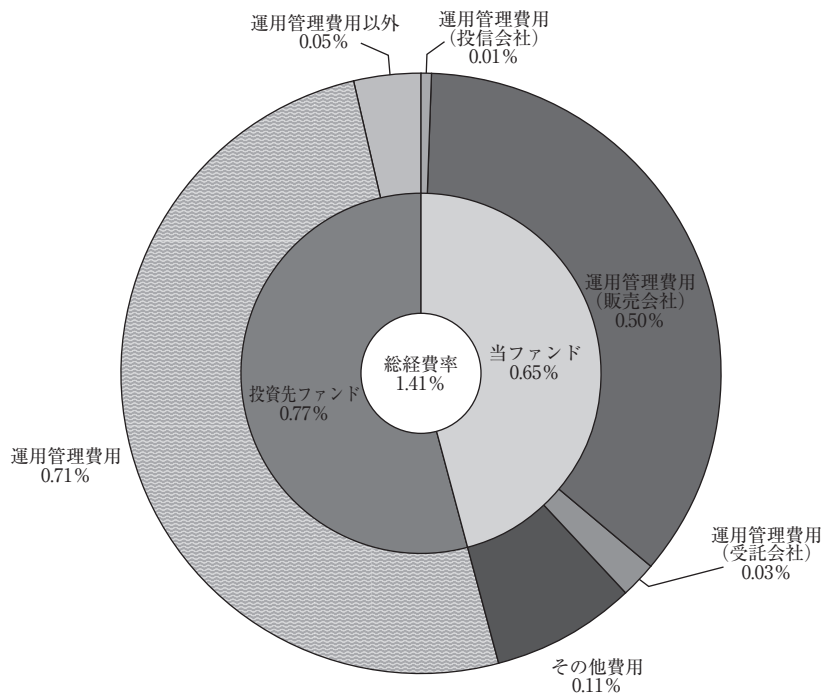
■1万口当りの費用明細

項目	第4期 (2022.8.23～2023.8.21)		項目の概要
	金額	比率	
	円	%	
(a) 信託報酬	94	0.537	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は17,484円です。
(投信会社)	(2)	(0.011)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(86)	(0.494)	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(6)	(0.033)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	19	0.107	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(印刷費用・監査費用等)	(19)	(0.106)	目論見書および運用報告書の作成・印刷費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用等の諸費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	113	0.645	

- (注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
- (注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注3) 比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■総経費率



※当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.41%です。

総経費率(①+②+③)	1.41%
①当ファンドの費用の比率	0.65%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.71%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

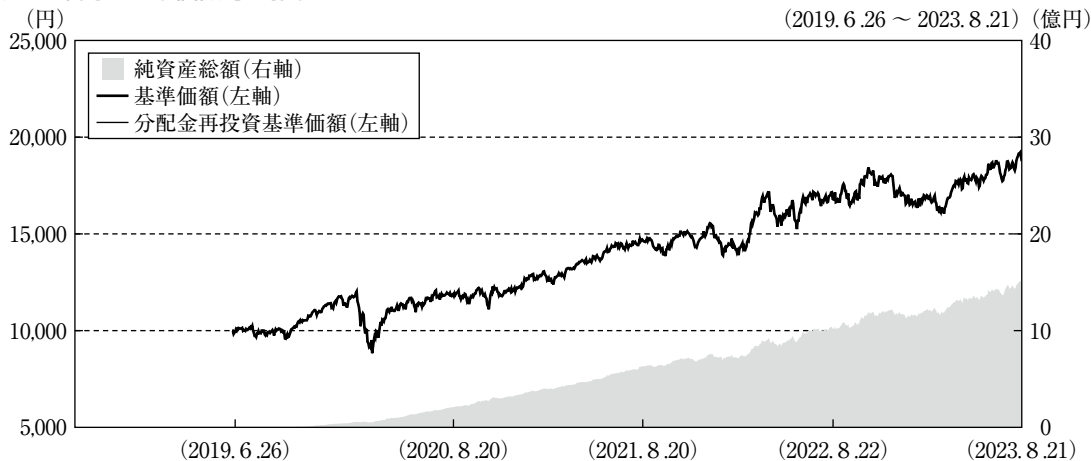
(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移について



(注)分配金再投資基準価額は、2019年6月26日(設定日)の基準価額をもとに指数化したものです。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2019年6月26日 期初(設定日)	2020年8月20日 決算日	2021年8月20日 決算日	2022年8月22日 決算日	2023年8月21日 決算日
基準価額(分配落) (円)	10,000	11,941	14,623	17,142	18,761
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率(%)	—	19.4	22.5	17.2	9.4
純資産総額 (百万円)	1	206	623	1,038	1,489

*当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

*設定日の基準価額は設定時の価額、純資産総額は設定元本を表示しております。

投資環境について

＜株式市場＞

当期、世界の株式市場は、インフレや景気後退懸念等の不透明感が後退したことから、堅調に推移しました。この1年間の世界的な市場のテーマはインフレであり、米国のヘッドラインCPI（消費者物価指数）は昨年8月には、前年同月比8.3%と予想を上回る水準となりました。2023年に入り、住宅価格等は引き続き上昇がみられたものの、CPIは鈍化しました。当期、FRB（米連邦準備制度理事会）は7回の利上げを行い、300bps引上げています。ロシアと中国における地政学リスクを背景とするエネルギー価格上昇やサプライチェーンの供給制約は、企業収益に影響を及ぼしました。中国はゼロコロナ政策の解除を2022年第4四半期に行い、サプライチェーン問題の緩和への期待から市場は中国のゼロコロナ政策の解除を好感しました。2023年に入り、中国の経済再開は予想を下回り、低調であることから、中国の中央銀行は短期借入金利を引き下げました。当期前半、世界の株式市場は人工知能（AI）の恩恵を受けるテクノロジー株の上昇などに牽引され上昇しました。4月、第1四半期の業績が予想を上回るものであったことから、株式市場は上昇し、銀行セクターに対する懸念が後退しました。5月、発表された経済指標が経済成長の減速とインフレの高止まりを示したことから、株式市場は調整しました。当期末には金融引き締めが終盤であることを織込み、株式市場は上昇しました。

このような環境下、ヘルスケアセクターは相対的に堅調に推移しました。ヘルスケア分野の大部分で見られる需要の非弾力性が、マクロ経済的圧力を相対的に遮断しました。医療用機器メーカーは、当期前半はインフレや供給制約の影響を受けたものの、当期後半にかけてはインフレや供給制約等の圧力が緩和したことから良好なパフォーマンスとなりました。不安定な株式市場環境下、投資家はバリュー志向を強めたものの、マクロ経済への懸念が後退したことから、ヘルスケアセクターではバイオテクノロジー株のような、成長力に基づくセグメントが堅調に推移しました。

＜米国債券市場＞

米国の短期債利回りは、米国経済が堅調であることを示す経済指標等を背景に上昇しました。

ポートフォリオについて

＜当ファンド＞

当期、「ヘルスサイエンス・マザーファンド」を高位に組み入れた運用を行いました。

＜ヘルスサイエンス・マザーファンド＞

当ファンドは、主要投資対象ファンドである「BGFワールド・ヘルスサイエンス・ファンド」を高位に、「ICSブラックロック・ICS・USTレジャー・ファンド エージェンシークラス投資証券」を低位に組み入れた運用を行いました。

＜BGFワールド・ヘルスサイエンス・ファンド＞

当期、業種別、銘柄別のファンダメンタルズ分析に基づくボトムアップ・アプローチによる運用を引き続き行いました。主な投資行動としては、ヘルスケアサービス銘柄及びマネージド・ケア銘柄の保有を削減し、ヘルスケア・プロバイダー&サービス・サブセクターの組入を引下げました。一方、医療用機器メーカーの保有を積み増し、医療用機器・用品サブセクターの組入を引き上げました。

（主なプラス要因）

- ・医薬品及びヘルスケア・プロバイダー&サービス・サブセクターの銘柄選択
- ・CVSの組入低位
- ・医薬品大手ファイザーの組入低位
- ・サノフィSAの組入高位

（主なマイナス要因）

- ・医薬品サブセクターの組入低位及び医療用機器・用品サブセクターの組入高位
- ・ノバルティスAGの組入低位
- ・ノボキエアの組入高位
- ・エシロールルックスオティカの組入低位

<ICSブラックロック・ICS・USTレジャー・ファンド エージェンシークラス投資証券>

主に、米国短中期国債、米国政府によって発行されるその他債務権および現先取引に投資することで、流動性と元本の安定性を確保しつつ、安定的なインカム水準を追求した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向等を勘案して、見送りとさせていただきます。留保益の運用につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳(1万口当り)

項目	当期 2022年8月23日 ~2023年8月21日	
	当期分配金(税込み)	
対基準価額比率		-%
当期の収益		-円
当期の収益以外		-
翌期繰越分配対象額		8,760

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

<当ファンド>

引き続き、当ファンドではヘルスサイエンス・マザーファンド受益証券を高位に組入れた運用を行う方針です。

<ヘルスサイエンス・マザーファンド>

当ファンドでは、主として世界のヘルスサイエンス関連企業(医薬品、バイオテクノロジー、医療機器・用品、ヘルスケアサービス等)の株式に投資する「BGFワールド・ヘルスサイエンス・ファンド」を主要投資対象ファンドとします。副次的な投資対象として、米国の短中期国債等に投資する「ICSブラックロック・ICS・USTレジャー・ファンド エージェンシークラス投資証券」にも投資を行います。通常、主要投資対象ファンドへの投資割合を高位に保ちます。

投資先ファンドにおける今後の運用方針は以下の通りです。

<BGFワールド・ヘルスサイエンス・ファンド>

足元株式市場は上昇していますが、引き続き不透明な政治経済環境が続いています。バリュエーションが魅力的であり、中長期的な成長を支える製品パイプラインがある分野に投資機会があると考えています。また、バイオテクノロジー、医薬品、医療機器の分野で、優れた成長機会をもたらすような新たなイノベーションや技術開発についても注視しています。政策の観点からは、短期的な環境に大きな変化はないと思われます。IRA(インフレ抑制法)に含まれる薬価改定は承認されており、今後数年間の見通しについてはより明らかになっています。全体としては、薬価改定の潜在的影響は医薬品業界にとってまちまちであると考えています。患者の自己負担費用に上限がかけられ、一部の治療薬については購入する余裕が拡大し、販売数量の増加につながる可能性があります。一方、メディケアの対象である特定の薬品については、2026年に開始される価格交渉の対象となるため、マイナスの影響を受ける可能性があります。当ファンドでは、これらの事象を引き続きモニ

ターし、投資先企業への影響を検討してまいります。今後、引き続き市場は不安定であると予想しており、年間を通してのヘルスケアセクターの相対的な安定性に期待を持っています。ヘルスケアセクター全体の中で、安定して強固なキャッシュフローを生み出す企業への魅力的な投資機会を探ってまいります。当セクターの持続的長期成長要因として二点を見ております。一つ目は、先進国および発展途上国における高齢化問題、二つ目は医療技術における技術革新です。これらの長期持続トレンドが良好なバリエーションと組み合わせられることで、魅力ある長期的な投資機会が生まれると考えています。

<ICSブラックロック・ICS・USTレジャーリー・ファンド エージェンシークラス投資証券>

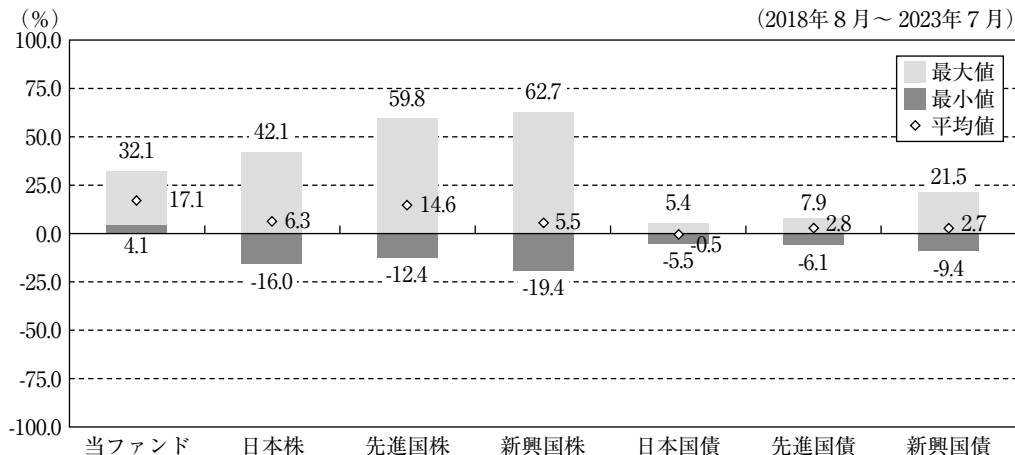
主に、米国短中期国債、米国政府によって発行されるその他債務権および現先取引に投資することで、流動性と元本の安定性を確保しつつ、安定的なインカム水準を追求した運用を行う方針です。

◇当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無制限(設定日:2019年6月26日)	
運用方針	ヘルスサイエンス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界のヘルスサイエンス関連企業(医薬品、バイオテクノロジー、医療機器・用品、ヘルスケアサービス等)の株式に投資し、信託財産の成長を目標に運用を行ないます。	
主要投資対象	子投資信託	【ブラックロック・ヘルスサイエンス・DCファンド】 ヘルスサイエンス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	親投資信託	【ヘルスサイエンス・マザーファンド】 「ブラックロック・グローバル・ファンズ(ルクセンブルグ籍投資法人) ワールド・ヘルスサイエンス・ファンド クラス I 投資証券」(主要投資対象ファンド) および「インスティテューショナル・キャッシュ・シリーズplc(アイルランド籍証券投資法人)ブラックロック・ICS・USトレジャリー・ファンド エージェンシークラス投資証券」を投資対象ファンドとします。
運用方法	<p>①親投資信託の受益証券への投資を通じて、主として世界のヘルスサイエンス関連企業(医薬品、バイオテクノロジー、医療機器・用品、ヘルスケアサービス等)の株式を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ないます。親投資信託においては副次的な投資対象として、短期債券等に投資する投資信託証券にも投資を行ないます。親投資信託において投資対象とする投資信託証券は、別に定めるブラックロック・グループの運用会社が運用するものとします。</p> <p>②実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。</p>	
分配方針	<p>年1回の毎決算時(原則として8月20日。休業日の場合は翌営業日)に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <p>■経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買損益(繰越欠損補填後、評価損益を含みます。)等の全額を分配対象額の範囲として分配を行います。</p> <p>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないことがあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <p>■留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p> <p>※基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないことがあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>	

(参考情報)

◇代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*上記は、2018年8月～2023年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*上記の騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

*当ファンドについては設定日以降のデータが5年分に満たないため、実在するデータのみの記載となっています。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

*各資産クラスの指数

- 日本株・・・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
- 先進国株・・・MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
- 日本国債・・・NOMURA-BPI国債
- 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
- 新興国債・・・J.P.モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

<各指数について>

東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、日本の株式市場を広くに網羅するとともに、投資対象としての機能性を有する我が国を代表する指数です。東証株価指数(TOPIX)(配当込み)の指数値および東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発、計算した株価指数です。MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)は日本を除く世界の主要先進国の株式を、また、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は新興国の株式を対象として算出した指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、日本国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数に関する知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではありません。

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

J.P.モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)は、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、新興国の現地通貨建ての国債を対象として算出した指数です。同指数に関する著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

◇ファンドデータ

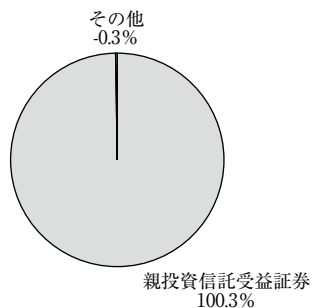
■当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド等

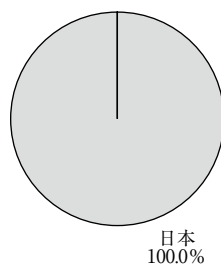
	比率
ヘルスサイエンス・マザーファンド	100.3%
その他	-0.3

(注) 比率は第4期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

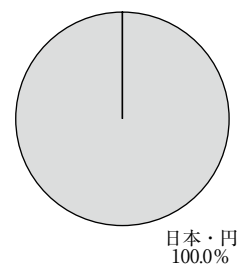
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は第4期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

■純資産等

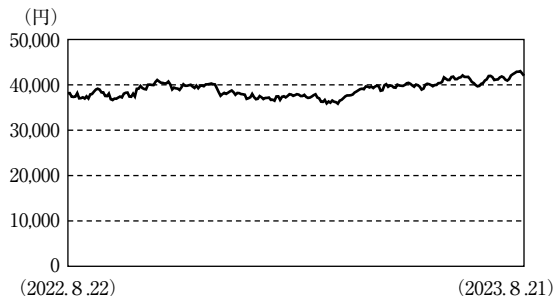
項目	当期末
	2023年8月21日
純資産総額	1,489,426,818円
受益権総口数	793,901,053口
1万口当り基準価額	18,761円

* 当期中における追加設定元本額は284,812,076円、同解約元本額は96,665,476円です。

■組入上位ファンドの概要

◆ヘルスサイエンス・マザーファンド

○基準価額の推移



○組入ファンド等

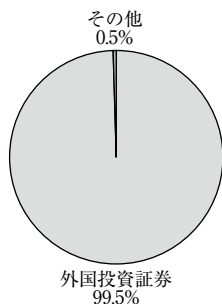
銘柄名	比率
BGF ワールド・ヘルスサイエンス・ファンド	98.5%
ICS ブラックロック・ICS・USTレジャーリー・ファンド	1.0
その他	0.5

○1万口当りの費用明細

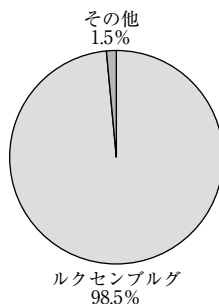
(2022. 8. 23～2023. 8. 21)

項目	当期
	円
(a) 売買委託手数料	-
(b) 有価証券取引税	-
(c) その他費用 (保管費用)	1 (0)
(その他)	(0)
合計	1

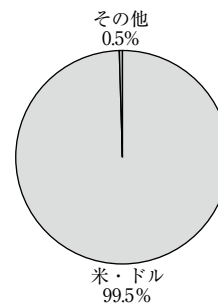
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については1ページ(1万口当りの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 通貨別配分のデータは実質為替組入比率を記載しております。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

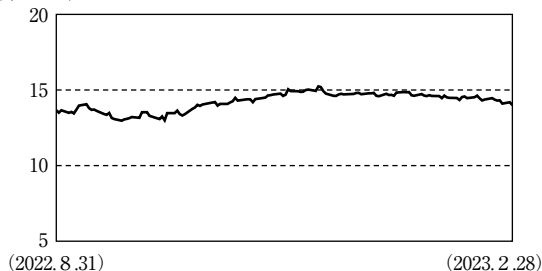
■マザーファンドの組入上位ファンドの概要

基準価額の推移以外の開示情報につきましては、BGF ワールド・ヘルスサイエンス・ファンド クラス I 投資証券を含む全てのクラスを合算したものです。

◆BGF ワールド・ヘルスサイエンス・ファンド

○基準価額の推移

(米・ドル)



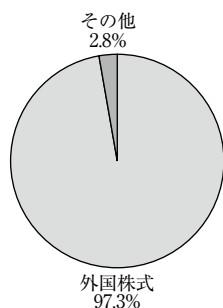
○上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
UNITEDHEALTH GROUP INC	米・ドル	6.7%
ASTRAZENECA PLC	英国・ポンド	4.7
MERCK & CO INC	米・ドル	4.1
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	米・ドル	4.0
ELI LILLY	米・ドル	3.9
NOVO NORDISK CLASS B	デンマーク・クローネ	3.9
JOHNSON & JOHNSON	米・ドル	3.3
ROCHE HOLDING PAR AG	スイス・フラン	3.3
BOSTON SCIENTIFIC CORP	米・ドル	3.0
DANAHER CORP	米・ドル	2.9
組入銘柄数	96銘柄	

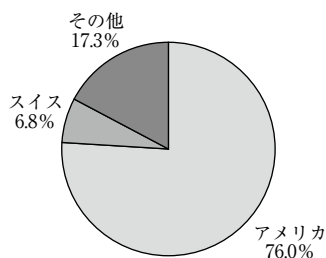
○1万口当りの費用明細

当該情報の取得が不可能であるため記載しておりません。

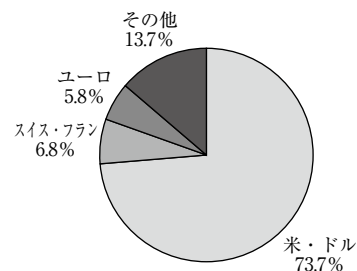
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 当社適時開示資料作成にあたり使用しておりますブラックロック・グループのデータに基づき記載しております。上記ファンドの管理会社が作成しているデータに基づく運用報告書(全体版)の参考情報と相違する場合があります。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。